



出張報告書

令和 4 年 5 月 20 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 青雲の会
 代表者氏名 波多正文
 出張者氏名 岸田光広 佐野剛志

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

- 1 出張期間 令和4年5月12日から令和4年5月13日まで
- 2 結果の概要

用務先 新宿区	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1 全国地方議会サミット2022 参加 2 3 4 5
添付書類 <input type="checkbox"/> 出張報告書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	備考

- 3 届出事項の変更等 なし あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

<input checked="" type="checkbox"/> 精算額は、令和4年4月13日届け出た額(90,360円)と同一額である。 <input type="checkbox"/> 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

	月	日	日	日	日	日	日
前 発着地 後							
前 経 路 後							
前 用務先 後							
前 宿泊先 後							

視察・研修報告書

受講者：青雲の会 岸田光広
佐野剛志

日時：令和4年5月12日（木）、13日（金）

場所：早稲田大学 大隈講堂

テーマ：全国地方議会サミット2022

5月12日

■チーム議会で取り組む「自己決定、自己責任」の地方議会

講師：元三重県知事 北川 正恭

■一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション

講師：デジタル大臣 牧島 かれん

■住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会

講師：大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭教授

■各地からオンライン登壇も。オンライン議会の展開事例

講師：月刊「ガバナンス」編集主幹 千葉茂明氏

■多様な議員の一般質問を。議会の政策形成へ

講師：法政大学法学部教授 土山 希美枝

5月13日

■コロナ2年の経験をどう活かしていくか？

講師：法政大学総長 廣瀬 克哉氏

■地方議会における男女共同参画の推進と実践

講師：日本大学法学部准教授 林 紀行氏

■速報。議会改革調査ランキングとトレンド

講師：早稲田大学マニ研事務局長 中村健氏

■Z世代にも届く。デジタルを活用した広報と、広聴

講師：株式会社POTETO Media代表 古井 康介氏

ZEXT代表 小林貴子氏 副代表 吉永一輝氏

■いまこそ問われる地方自治と議会の役割

講師：元総務大臣 片山善博氏

(所感)

今回は、久しぶりに早稲田大学マニフェスト研究会の研修に参加することができた。今回の研修では、特にコロナ禍において各地方議会がどのように委員会、本会議を開くことができるかの検討事例などを聞くことが出来て大変参考になった。尼崎市の場合は、大規模災害時行動マニュアルの規程に基づき、令和2年3月に初めて尼崎市議会災害時連絡会議を設置し、市災害対策本部との連携や、議会の運営等について調整を図ったが、他の自治体でも同様の会議体を設置して、様々な議会の課題について検討を重ねたことが分かった。自治法の規定の解釈により（実施できるとの考え方もあるようだが）、本会議のオンラインでの実施をした自治体は無かったが、実際に開催をしようとして国と折衝するなど積極的に動いた自治体もあった。最近では、コロナ感染が一定の落ち着きを示していることから、もうこのような検討は必要ないとの意見も聞かれるが、いつ何時同様の事態が起きるかもしれないので、不断の改革の検討が必要であると痛切に感じた。

また、今回の研修のもう一つの大きいテーマであるデジタル化の推進については、デジタル庁がどのような考えで日本のデジタル化を進めようとしているのかが、牧島大臣の説明により理解できた。尼崎市議会では、タブレットを全議員が運用するなど一定のデジタル化が進んでいるが、その活用についてはまだまだ改善の余地があると考えている。特に地方議会においては、デジタル化の動きが遅いと感じており、その中でもフロントランナーとしてデジタル活用を図っている議会の事例は非常に参考になった。常任委員会のオンライン開催をすでに実施している議会もあることから、尼崎市でも緊急事態に備えて、早急に整備をしておくべきだと思った。

最後に万全のコロナ感染症対策をした上で、オンラインだけではなく、実際に会場で聴講できる形で開催して下さった早稲田大学のマニフェスト研究会の北川氏、中村氏に感謝を申し上げたいと思う。

以上